

自己点検・評価について

① 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	<p>「Officeリテラシー」は、卒業単位認定の必修科目であるため全員が1年生で履修、単位取得している。その他の科目は卒業単位認定科目であるが選択科目であり、それぞれ履修者数、単位取得者数は以下の通りであった。</p> <p>「エンジニアリテラシー」履修358名、単位取得220名 「統計基礎」履修136名、単位取得71名 「プランニング基礎」履修165名、単位取得141名 「特別講義E」履修25名、単位取得11名</p> <p>以上の履修状況に対して次の意見があった。</p> <p>①「特別講義E」は履修定員が少なくプログラム推進のネックになっている。また内容も、リテラシーレベルを超えている。定員の増や、オンデマンド等により希望者全員が履修できる環境が早期に必要である。</p> <p>②基礎的な内容で特に重要な科目は、選択ではなく卒業認定の必修科目に位置付ける検討が必要である。</p> <p>③プログラムの主旨やレベルを明確に伝えるわかりやすさが望まれ、モデルカリキュラムに対応する科目新設の検討が必要である。</p>
学修成果	<p>本学は、デジタルコミュニケーション学部デジタルコンテンツ学科の一学部一学科であり、基礎的レベルから専門的かつ実務的な領域まで範疇としている。しかしそれゆえに、成果を測るうえで「数理データサイエンスAI(リテラシーレベル)」の科目としてはそぐわないものもあった。</p> <p>毎回の授業でアンケートを実施し理解度について調査をおこなっているが、リテラシーレベルに対応した内容を踏まえた調査・分析を行う必要がある。</p>

<p>学生アンケート等を通じた 学生の理解度</p>	<p>毎回の授業アンケートで「理解できている」と回答したものが多いが、「特別講義E」のみ理解度が低かった。これは、授業内容のレベルが、リテラシーレベルを超えた内容になっていることが原因と考えられる。</p> <p>回答の選択肢「理解できた」「よくわからなかった」のうち、「理解できた」と回答した率(全8回授業の平均)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Officeリテラシー 92% ・エンジニアリテラシー 86.4% ・プランニング基礎 85.3% ・統計基礎 94.7% ・特別講義E 46.1%
<p>学生アンケート等を通じた 後輩等他の学生への推奨度</p>	<p>期末アンケートで授業評価を行っている。「 この授業を後輩に勧めますか」の設問に対し以下の通りの評価であった。</p> <p>回答の選択肢「とてもそう思う」「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」「全くそう思わない」のうち、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した率。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Officeリテラシー 81% ・プランニング基礎 95% ・エンジニアリテラシー 76% ・統計基礎 70% ・特別講義E 33%

全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	履修定員から履修者数の限界があり、令和3年度の履修率は想定内である。 令和4年度も科目は微小な改変に留まる為、令和3年度から大幅増は見込んでいない。
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	プログラム修了者のうち卒業生は2名で、人数が少ないため分析には至らない。 なお、修了者4名のうち2名が、ロボットデザインやプログラミングの専門分野に進んだ。

<p>産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見</p>	<p>実務的で専門性の高い大学院の科目とのつながりを考慮したうえで「応用基礎レベル」の創設も視野に入れる。</p>
<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p>映像やグラフィックなどを志向する学生が多いため、「数理・データサイエンス・AI」は特定分野と捉えられがちである。ソサエティ5.0社会における「読み書きそろばん」としての意識付けに重点を置き、実務との連続性や幅広い分野での応用について丁寧に説明する。</p>

内容・水準を維持・向上しつ
つ、より「分かりやすい」授業
とすること

実務を志向する本学では、低学年から分野が分かれ授業内容・水準は応用レベルに及ぶ。一方で、数学の知識の乏しい学生も存在する。
誰もが理解すべきリテラシーレベルとして、分野を問わず履修できる科目になるように科目やカリキュラム内容を見直しを行う。また、科目名を見直し、抵抗感を持たず履修できるようにする。

②自己点検・評価体制における意見等を公表しているアドレス

https://doc.dhw.ac.jp/suuri_datascience_ai